

情けと行動 — 情けは人のためならず —

(三版)

困こまつてひとている人手を貸すと
貸かした相手が貪むさぼらん
そんな理屈りくつで何もせぬ
怠なまけの利己心幅効りこしんはばきかす

情け掛ければ返るべし
廻めぐり廻めぐつてやがて来る
指折ゆびおり数かぞえて待まつならば
なんと本音ほんねは打だ算さん的てき

情けは水に流すべし
恩義おんぎは石いしに刻きざみなん
情けを恩おんと受うけ止とめて
恩おんに報むくいる心こころを育そだて
掛かけた情けは水みずに流ながせ
受うけた恩義おんぎは石いしに刻きざめ

四恩総しおんすべて報ほうじ
三有齊さんぬひとしく資たすけ
ひたすら努つとめる皆みなのため

普あまねく自他じたを利りするなり
同おなじく種智しゅちを圓まじかにせん

宮城県大崎市 瑞川寺住職 木村謙文